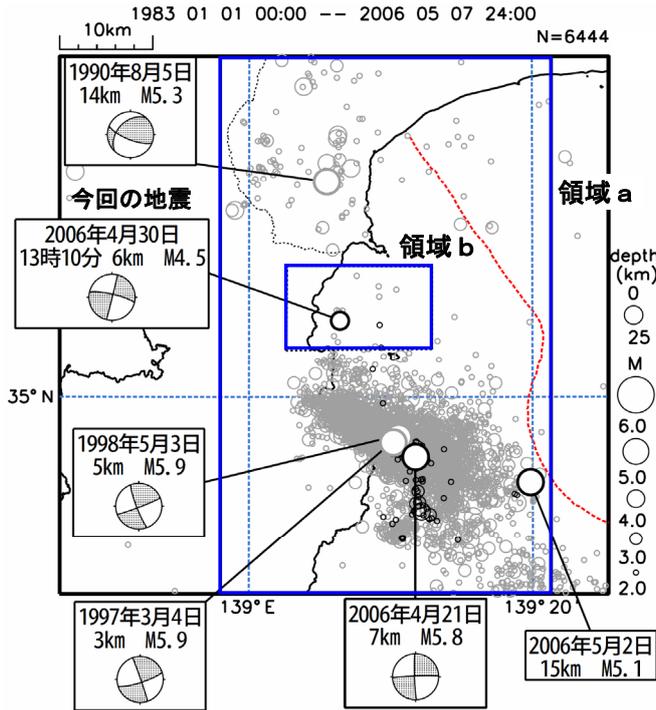
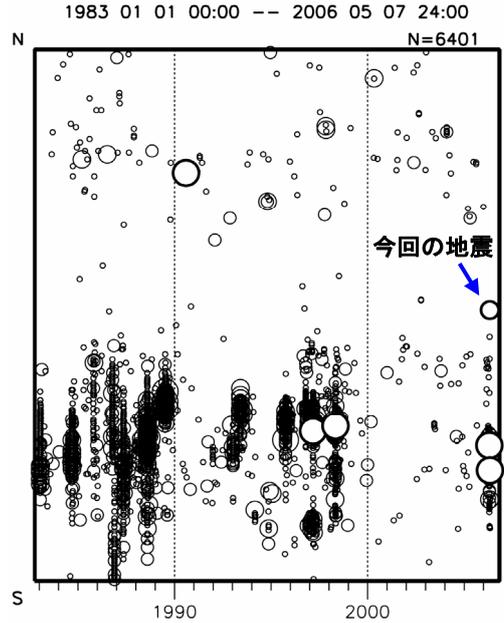


4月30日 伊豆半島東方沖の地震

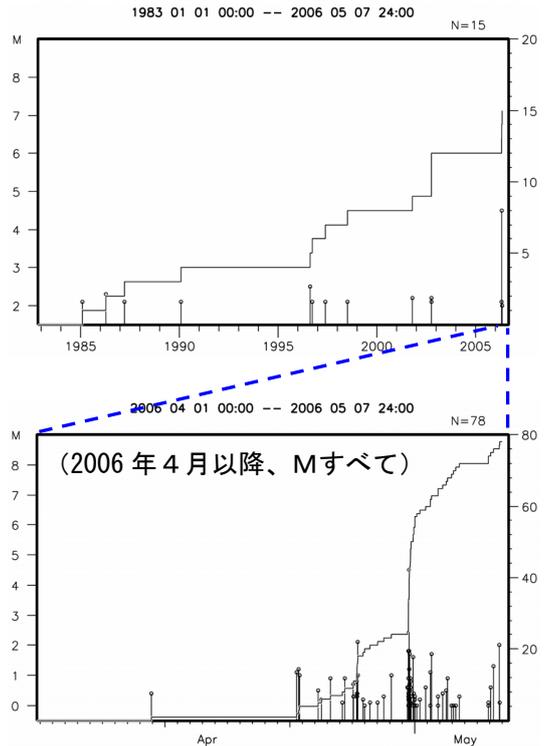
A 震央分布図 (1983年以降、 $M \geq 2.0$)



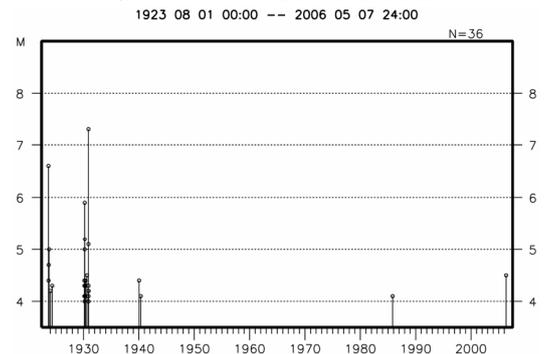
領域 a 内の時空間分布図 (南北方向)



領域 b 内の地震回数経過図、回数積算図



領域 c 内の地震活動経過図



気象庁作成

2006年4月30日13時10分に伊豆半島東方沖の深さ6kmでM4.5(最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

伊豆半島東方沖では、2006年4月17日より地震が多発し、4月21日にはM5.8(最大震度4)の地震が発生したが、今回の地震はそれらの活動域から北北西に約15km離れた場所で発生した。(A)

1923年8月以降、今回の地震の震央付近では、関東地震直後の地震活動が活発であった時期や、1930年北伊豆地震の前後の活動を除くと、M4.0以上の地震はほとんど発生していない。(B)

B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 4.0$)

